

# シンポジウム：細胞治療薬開発研究における *in vivo* 実験モデルの果たす役割

主催：(公財) 実中研

公益財団法人 実中研は、「細胞治療」にフォーカスしたシンポジウムの開催を企画いたしました。今回は、実中研の研究者の他に、細胞治療薬の研究分野でご活躍の4名の先生方にご講演をお願いいたしました（下記ご参照）。

是非皆様にご参加いただけますようお願い申し上げます。Web による同時配信も実施する予定です。現地参加が難しい方は Web での参加をご検討くださいますようお願い申し上げます。

・日時：2024年9月18日（水）

シンポジウム：13:00~17:30（開場 12:30） 情報交換会：17:30~19:30

・会場：ANA クラウンプラザホテル福岡、2階クラウンランドボールルーム

<https://www.anacrowneplaza-fukuoka.jp/access/>

・参加費：無料

・申し込み：サイトよりお申し込みください。下記アドレス/QRコードよりアクセスできます。

<https://forms.gle/RuZpGhP9ce5ZYuSm9>



・定員：100名（満席になり次第受付を終了させていただきます）

・本件に関するお問い合わせ：[sales@invivoscience.com](mailto:sales@invivoscience.com) または 044-201-8518 までお願いします。

・プログラム：

|             |        |  |   |
|-------------|--------|--|---|
| 13:00~13:05 | 開会のご挨拶 | 末松 誠   | 公益財団法人 実中研 所長   |
| 13:10~14:10 | 特別講演 1 | 最新CAR-T細胞療法の進展と将来展望<br>玉田 耕治 先生  | 山口大学細胞デザイン医科学研究所 所長<br>山口大学医学部医学研究科免疫学講座 教授                   |
| 14:10~15:10 | 特別講演 2 | iPS細胞技術を用いた免疫細胞治療の開発<br>金子 新 先生  | 京都大学iPS細胞研究所 免疫再生治療分野 教授<br>筑波大学トランスポーター医学研究センター がん免疫治療学分野 教授 |
| 15:10~15:20 |        |  | 休憩  |
| 15:20~16:00 | 講演 1   | iPS細胞由来免疫細胞の機能評価における免疫不全マウスの役割と課題<br>入口 翔一 先生  | 京都大学iPS細胞研究所 免疫再生治療分野 特定拠点講師                                  |
| 16:00~16:40 | 講演 2   | Combination of T cell-redirecting bispecific antibody ERY974 and chemotherapy reciprocally enhances efficacy against non-inflamed tumor<br>~ヒト化NOGマウスを用いた非臨床研究例~<br>佐野 祐治 先生 | 中外製薬株式会社創薬薬理第一研究部   |
| 16:40~17:20 | 講演 3   | 重度免疫不全マウスを用いた細胞治療薬の開発<br>高橋 武司 先生  | 公益財団法人実中研 免疫研究室 室長  |
| 17:20~17:25 | 閉会のご挨拶 | 中畑 龍俊  | 公益財団法人実中研 理事  |
| 17:30~19:30 |        |  | 情報交換会   |